

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	上部尿路結石症に対する経皮的尿路結石碎石術における周術期合併症に関する全国調査
研究期間	倫理委員会承認後/実施許可日～ 2023年9月27日
研究の対象	2019年4月1日から2022年3月31日までに上部尿路結石症に対して経皮的尿路結石碎石術を受けられた方です。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：性別、年齢、画像検査の結果、手術内容の詳細など） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：名古屋市立大学） （提供方法：調査票（WORD ファイルと EXCEL ファイル）の送付） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	研究代表 名古屋市立大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野 TEL：052-853-8266 Fax：052-852-3179 担当者：濱本 周造 日本泌尿器内視鏡外科学会代議員（413名）が在職する多施設
研究の意義、目的	2cm以上の腎結石症に対する外科的治療の第一選択は経皮的腎碎石術（PNL）とされています。しかし、PNLは複雑な腎結石に対しては治療効率が低下すること、また輸血を必要とするような出血や、感染のリスクが高いことが問題とされています。近年、これらの問題を克服するため、経皮的腎碎石術（PNL）と経尿道的尿管碎石術（TUL）を同時に行う経皮経尿道同時内視鏡治療（ECIRS）が行われるようになりました。今までは同時手術でもPNL単独治療として保険請求されていましたが、2020年度より臨床の実態に合わせて、TULの保険点数の加算が認められたことより、ECIRSの手術件数の増加が見込まれています。そこで、本研究では、上部尿路結石に対する経皮的尿路結石碎石術の日本の現状を明らかにするため、過去の症例のデータを蓄積します。本研究は、尿路結石に対する外科的治療の治療成績を調べることを目的としています。
研究の方法	この研究は研究機関の倫理委員会許可日から2年間実施いたします。その対象患者さんは2019年4月1日から2022年3月31日までに上部尿路結石症に対して経皮的尿路結石碎石術を施行し周術期合併症を発症した方です。診療録をもとに

	<p>以下の事項を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、身長、体重 ・画像検査の結果：手術前水腎症の有無、手術前尿管ステント留置の有無、尿路結石部位、結石サイズ（最大長径）、結石の硬さ（CT値：HU） ・手術方法：術式、体位、穿刺方法、トラクトサイズ、トラクト本数、手術時間
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p style="padding-left: 40px;">旭川市緑が丘東2条1丁目1番 旭川医科大学 腎泌尿器外科 TEL：0166-68-2533</p> <p>研究責任者：</p> <p style="padding-left: 40px;">旭川医科大学 腎泌尿器外科 和田直樹</p> <p>研究代表者：</p> <p style="padding-left: 40px;">名古屋市立大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野 瀧本 周造</p>